

災害救援ボランティアセンターとは

全国からのボランティアを受け入れ、被災者からの様々な支援要請を集めて調整し、適切なボランティアを派遣するところです



被災者

- 様々な支援（ニーズ）を要請出来ます。



災害救援ボランティアセンター

- 災害救援ボランティアコーディネーターが調整。
- 支援（ニーズ）の受付。
- ボランティアの受付、登録。
- ボランティア証明書の発行。
- ボランティアの派遣
- ボランティア支援センターと連携。
- 情報の収集。
- 災害対策本部との連携



ボランティア

- 全国からボランティアがやって来ます。
- ボランティア登録を行い、ボランティア証明書をもらいます。
- 偽ボランティアを防ぎます。

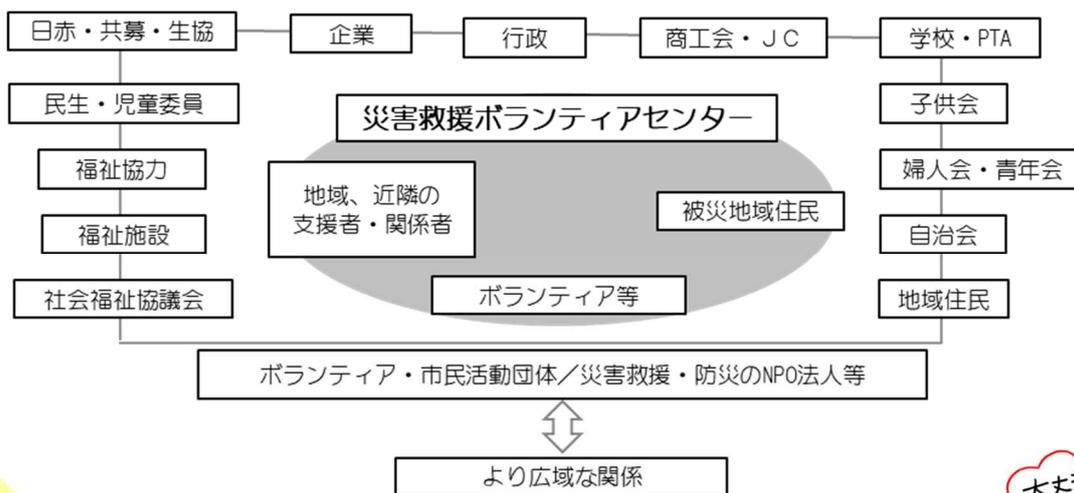


受援力の向上

ボランティア受け入れの仕組み

日頃から地域が協働して外部支援を受け入れ、連携する基礎を作る

- 地域関係機関との協働：行政、企業、NPO、専門職能団体、地域災害救援ボランティアネットワーク等
- 外部ボランティアとの協働：地域の自助努力を支え、地域力の回復を図るために外部の力が必要



災害救援ボランティア コーディネーターは？



防災リーダーや自主防災組織の方・イベントの役員などが適しています

- 日頃から、地域の事情に詳しく、被災現場の様子をよく知っている
- 被災された方は、身近な町内会長や防災リーダーに相談することが多い
- ニーズの把握やボランティアの募集・調整・派遣を行うコーディネーターとして適しています

～ 用語の解説 ～

- F S Vとは、NPO 法人藤沢災害救援ボランティアネットワークの略称です
F ujisawa S aigai V olunteer の頭文字です
- (災害) V Cとは、ボランティアセンターの略称です
V olunteer C enter の頭文字です
なお、社会福祉協議会が通常用いている「ボランティアセンター」と混同しないよう災害ボランティアセンターのように前に「災害」をつけています
- (災害) V C oとは、(災害) ボランティアコーディネータの略称です
V olunteer C oordinator の頭文字です
- サテライト (satellite) とは、衛星・衛星都市・人工衛星などと訳され、V C本部一つだけでは藤沢市全域をカバー出来ないため、必要に応じ地域防災拠点などにV Cサテライトを開設しV C本部と連携した活動を行います。規模や機能は状況により様々な形態をとります。(例えば、道案内だけのサテライトもあります)
- 災害ボランティアセンターの開設と運営

災害ボランティアコーディネーターの

養成講座は誰でも受講することができます

藤沢市内のコーディネーター数

受 講 生 募 集

1	片瀬	27名	2	鵜沼	117名
3	辻堂	16名	4	村岡	130名
5	藤澤	22名	6	明治	8名
7	善行	53名	8	湘南大庭	74名
9	六会	76名	10	湘南台	9名
11	遠藤	31名	12	長後	47名
13	御所見	3名			
藤沢市内合計 613名 (2024.3)					

災害救援ボランティアコーディネーター養成講座は各地区で開催されています。

詳しくはホームページをご覧ください。

URL : <https://fsv.fvnet.com>

Eメール : fsvnet@arts-k.com

コーディネーターは まだまだ足りません。

一緒に地域で活動しませんか !!